



子どもが輝き、教職員が健康で働きやすい職場を！

学校づくりアンケートに寄せられた声から

尾北教員では、毎年、教職員向けの「子どもが輝く学校づくりアンケート」に取り組んでいます。今年度も、さまざまな声が寄せられています。アンケートにご協力いただきありがとうございます。アンケートに寄せられた声の一部を紹介しながらそれぞれの課題について一緒に考えたいと思います。

道徳の教科化

(評価について)

◎道徳を評価しようとする、導きたい方へ誘導する授業になってしまつては…。また教師の負担が増えるのは間違いなく、教科化は反対。

◎評価を意識しすぎるあまりそれによりわれた授業にならないか心配。

◎担任の負担増や評価に対する保護者の理解が得られるか心配。本当に教科化するこの目的は何か。問題解決に結びつくか。

◎通知表に所見を書く欄が増えることが多忙化だと思います。

(授業内容について)

◎「〜ができていますか」「できたら色をぬろう」のように規範意識を持たせることが強められ、本来の「共感」を大切にされた道徳教育からずれていく心配

小学校での英語の教科化

(英語教育について)

◎英語は中学校の醍醐味。小学校でやる必要はないと思う。オールイングリッシュの授業は、伸びる子は伸びるが、わからない子にとっては苦痛でしかない。

◎まず日本語。中学からでいい。小さいうちは耳を育てられればよい。うすっぺらな英語しか話せない国際人が増える。

◎小学校でカリキュラムの見直しをして、

を感じる。

◎道徳性は、押しつけて身に付くものではない。だから教科にはなり得ない。それでも「考える道徳」になるよう授業を工夫していくべき。そのために教材研究、教材の掘り起こしを一人ではなく集団で行っていく必要がある。

指導内容のスリム化が必要だと思う。そもそも母語の学習の方が大切だと思っ

◎学習内容が増えたりアクティブラーニングをしたりして大変です。とても余裕がありません。英語塾に行っている子は得意ですが、その他の子は覚える内容が多くていやになっていきます。

◎子どもにとっても学習内容が増えることになり、意欲的に学べるのか疑問です。

(専門性や時数増などへの対応)

◎担任がやることには不安があります。テキスト「We Care」の難易度も高く、本当にできるのでしょうか。

◎特に専門の技能が必要なのに、担任一人で授業を行わなければいけない時間が多

いのは大変不安である。

◎小学校については、これまで以上の行うのであれば、担任への負担を減らすためにも、講師などに授業を行ってもらつて

◎高学年の授業で中一の段階の授業内容に

取り組むのであれば、明確な位置づけをして、確実に習得できるようにするべきです。そのためには専門の教員を配置してほしい。

◎授業時間について、しっかり検討もされず、現場にまると投げ、多忙化解消と反対の方向に向かうものです。

全国学力テスト

(テスト対策について)

◎事前に過去問をすることは、本当の実力を

◎テストの形式や内容が学校での授業内容とかけ離れているために、事前の練習をさせている学校ほど点が高いと思われる。全く本末転倒です。

◎過去問題で練習してからは、テスト対策をしている学校とそうでない学校との差が広がり、正確な学力をはかれないのではないかと。

(全国学力テストについて)

◎テスト結果だけでなく、授業や生活アンケートの部分に指導法の統制を感じ

◎学力調査であるのなら、最小限、子どもや学校運営に支障のない方法をとるべき。

◎テストをすることで学習を強いるなんて、本末転倒もいところ。日ごろの学習を大切にしたい。

時間外勤務の割り振り

(割り振りの現状について)

◎今年、「延長したので割り振りをとってください」と言われたことがない。取れなくても、言ってもらえると気軽に取れるのでは…。

◎朝の登校指導は、ボランティアでやっている、ということなので(割り振りがない)。

◎どの分が割り振りか理解していない。◎とりたいが、仕事を進めることが多くとれない。

◎夏休みなどによってくれと言われても、全然ありがたくない。授業のある日に

取れる工夫がほしい。

◎割り振りをいってほしいと言われるが、

〇月中にと期限を決められると辛い。

割り振りは長期休業中でないと、とり

づらい。

◎長期休業中に割り振りをとりさせてもら

っている。でも、平日、残業している

ことが多く...

◎長期休業中はとれる。平日は厳しいそう

(と)より取ったことがない。

◎個人別の割振変更簿があるので、平日

でも、とりたいたいときとりやすい。

(休憩時間について)

◎割り振りは、長期休業中にとらせても

らっている。それ以外の時には、とれ

ない。しかし、毎日休憩時間もなく働

いていて、その割り振りはない。

◎昼の休憩は実質とれない。その分の割

り振りはとれていない。絶対に休める

時間の確保がされていないと思う。

◎本校は、毎日の休憩は実質とれない上

に、運動会の練習や通学班集会や運動

推進週間など、昼休みを使うことが多

く、働き通し状態。

◎業務に余裕がなく、休憩時間は、ほと

んどとれていません。

◎毎日、取れないのだから5時までの勤

務は全くおかし。取れないから、4

時15分に勤務を解いてほしい。解くべ

き。

(年休について)

◎年休を使って、15分早く帰る人がいま

す。子どもたちが帰った後なので、校

長配慮で「年休を(取らなくてもいい)。

とか「口頭の延長分まで届け出なさい」と

言っても返らない。

◎年休がとりやすいような雰囲気がある

といい。平日は、児童がいるので取り

にくい、割り振りも心置きなく使える

ように。

◎結局、年休は夏休みなどの大きな休み

にかとれない。

◎長期休業中にしか年休はとれないので、

長期休業中の研修はもっと減らすべき。

多忙化解消と健康問題

(定数増・人的加配)

◎教育委員会が本気になっていることは

いいことだと思います。しかし、道徳、

英語の教科化など、それを上回る施策

が現場に降りてくる。多忙化解消プ

ラント同時に「教員を増やす」ことが重

要だと思えます。

◎空き時間をどの担任も週4〜5コマ必

ずとれるよう人員を配置すべき。1日

1コマあると、全くちがう世界が広が

る。

◎正規の教員増によって、学級児童や生

徒の定員を減らし一人の教師が責任と

余裕をもって子ども向き合えるよう

にしてほしい。本来の教師の仕事がで

きるように。

(業務内容の見直し)

◎扶桑町のように通知表の所見を学年末

だけにしてほしい。道徳、英語、総合

と書く欄が多すぎ。

◎部活動は、まずは朝練習をやめた方が

いいと思う。中学校教育の本業の学習

と生活全体のバランスを大切にすべき。

◎低学年にも空き時間がほしい。一日中、

教室から離れられないのは精神的、肉

体的に辛い。

◎多忙化解消のためには、県レベルでの

教育及び教員の研修などのシステムを

変更する必要がある。

◎時間外勤務を減らすように言われるが、

仕事量は変わらず、むしろ前より増え

ているので無理である。根本的な仕事

の見直しと体制づくりをしてほしい。

◎打ち合わせを少なくする。昼放課や2

放に絶対に学習や行事等を入れないな

ど、しっかりと考えてほしい。

◎在校時間を減らすように言われている

が、持ち帰って家で仕事をするくらい

なら、学校で済ませたい。仕事場が、

家か学校かで違うだけなのに...。根本

的に授業時数を減らすなどの負担を減

らすことがなければ、在校時間(時間

外勤務)は短縮されない。

(教員免許更新制)

◎教員免許更新制は、教師から費用も時

間も余裕も奪っていくもの。自分が一

番必要とする研修ができるようにして

ほしい。

◎教員免許更新がもうすべー巡し二回目

がくる。講座を探し、申し込み、受講

し更新の手続きをする。多忙化の一

だと思つ。

◎教職員評価は、仕事が多くなる。無意

味、これこそ多忙化解消。

◎ (教員免許更新制、教職員評価制度は)

世間に対してのアピールにしか思えな

い。これらによって、こちらは負担が

増えるので中止してほしい。

(働きやすい環境について)

◎土日をしっかり休める環境にしてほし

い。

◎みんないっぱいばいばいで仕事をして

いる。弱みを見せられないピリピリし

た雰囲気を感じる。

◎全職員が健康でゆとりをもって仕事が

できるようにしてほしい。

◎大変な児童を受け持っている教師がい

ます。教師、支援員さんが心の病気に

なりそうです。相談する人(カウンセ

ラー)も予約がいっぱいでなかなか順

番がまわってきません。市の教育委員

会に相談しても相談する機関もありま

せん。学校全体でその児童を見守ろう

と思つても、教師の人数が足りません。

◎保護者の対応で、心を痛める人が多い

のは残念。

◎担任の先生には、すごく負担がかかっ

ていると思います。部活をやっていた

頃は、土日もなく大変でした。

駐車料金徴収 その他

◎駐車料金は、絶対になくすべき。

◎駐車料金をとるのはおかしい。先生か

らとつて、スポーツ団体からはとらな

いのは変。社用車を用意することもな

い。全員が電車やバスの通勤にして財

政を圧迫させるぐらいの行動を起して

もいいと思います。

◎ノー残業デーで、やりたいことがやり

たいときにできなくなるのは困る。結

局、持ち帰ったり、休日に出て来たり

が増える。